

震災追悼行事

1月17日(金)、朝のSHR開始後、震災追悼の放送と黙祷を行いました。

1995年1月17日の午前5時46分に起きた阪神・淡路大震災の経験と教訓に触れ、震災により失われた命を悼み、震災から得た教訓を将来に活かした安全な社会を目指して、一層力を尽くすことが私たちに求められています。

30年の時を経て、阪神・淡路大震災を経験していない人の割合が増え、記憶の継承も問題になっています。兵庫県に生きるものとして、震災の経験を活かし、情報を知り、いつ起こるかわからない災害に備えることについて改めて考えはじめる日にしたいものです。

黙祷の様子(各教室にて)

